

市民アンケート・事業所アンケートの概要（案）

1 目的

亀岡市環境基本計画の見直しに向けて、市民の環境に関する評価、日頃の環境行動の取組状況、環境施策の認知度、環境に関する今後の方向性などの意見を調査し、次期計画の基礎資料として活用する。

2 前回のアンケートについて

- 市民アンケート : 18歳以上の市民3,000人を対象
⇒ 有効回答1,277人、42.6%
- 事業所アンケート : 市内の事業所50箇所を対象
⇒ 有効回答26箇所、52%

3 調査数の設定

(1) 市民・・・・・・3,000部を想定（前回アンケートと同規模）

(2) 事業所・・・・・・50部を想定（前回アンケートと同規模）

※平成22年に実施した前回の市民アンケートは、平成22年度における人口の約3%を調査数としている。

4 調査の手法

(1) 郵送による方法

(2) インターネット（本市の電子申請システム）による方法

(3) 郵送とインターネットによる方法

5 調査項目

質問内容	市民	事業所
基本項目	○	○
身近な環境について	○	
環境に対する取組について	○	○
リサイクル問題について	○	
地球温暖化について	○	
環境問題への関心について	○	○
亀岡市の環境に関する取組について	○	
行政が取り組むべき環境施策について	○	○

6 アンケート項目のねらい

【市民アンケート】

質問項目	ねらい
基本項目	「性別」、「年齢」、「居住年数」、「地域」による傾向を把握する。
質問 1 : 環境の満足度、重要度	前回のアンケート結果との比較による意識の変化と傾向を把握し、次期計画の「基本理念」や「施策の方向性」の検討資料とする。
質問 2 : 日常での取組	
質問 3 : 環境保全活動への参加度	
質問 4 : 使い捨てプラスチックごみに対する取組について	意識や取組状況を把握し、プラスチックごみゼロに向けた施策内容の検討資料とする。
質問 5 : 生活ごみで多いと感じるものについて	
質問 6 : リサイクルに対する関心	前回のアンケート結果との比較による意識の変化と傾向を把握し、次期計画の「基本理念」や「施策の方向性」の検討資料とする。
質問 7 : 節電や省エネの取組	関心や導入傾向を把握し、次期計画における再生可能エネルギーの普及促進の資料とする。
質問 8 : 環境用語の認知度	認知度と傾向を把握して、環境教育や普及啓発のための資料とする。
質問 9 : 情報の取得媒体や手法	環境情報の提供を行う最適な手法を検討するための資料とする。
質問 10 : 亀岡市の環境の取組の満足度	各項目に対する重要度を把握し、次期計画の「基本理念」や「施策の方向性」の検討資料とする。
質問 11 : 行政が取り組むべき環境施策について	
質問 12 : 目指すべき環境像	将来の亀岡の環境のイメージを把握し、次期計画の環境像の検討資料とする
質問 13 : 自由記載	本市の環境に関する意見について、次期計画の「基本理念」や「施策の方向性」の検討資料とする。

【事業所アンケート】

質問項目	ねらい
基本項目	「従業員数」、「業種」、「事業形態」、「地域」「法令規制」による傾向を把握する。
質問1：亀岡市内の環境についての関心度	前回のアンケート結果との比較による意識の変化と傾向を把握し、次期計画の「基本理念」や「施策の方向性」の検討資料とする。
質問2：環境への配慮について	
質問3：公害防止の取組について	
質問4：環境保全活動の取組について	
質問5：新エネルギーの利用状況について	再生可能エネルギー促進に向けた施策内容の検討資料とする。
質問6：地域などで実施されている環境保全活動への参加について	事業所の環境保全活動の促進のための資料とする。
質問7：情報の取得媒体や手法	環境情報の提供を行う最適な手法を検討するための参考資料とする。
質問8：環境施策の認知度	認知度と傾向を把握して、環境教育や普及啓発のための資料とする。
質問9：行政が取り組むべき環境施策について	各項目に対する重要度を把握し、次期計画の「基本理念」や「施策の方向性」の検討資料とする。
質問10：自由記載	本市の環境に関する意見について、次期計画の「基本理念」や「施策の方向性」の検討資料とする。